

FMC

果樹・茶用殺虫剤

エクシレル[®] SE

powered by

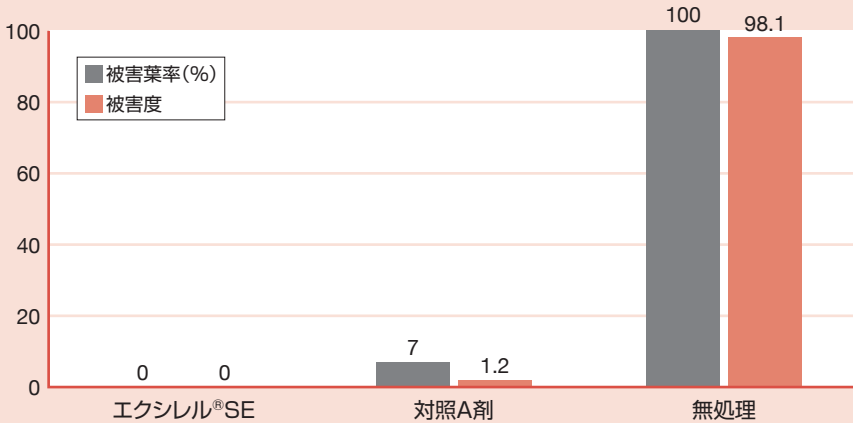
CYAZYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT



**長期間あなたの大事な苗木を守り、
みかんを健全に育てます。**

- 1度の散布で長期間続く効果
- 処理後の展開葉への速やかな浸透移行性
- 高い活性が葉の食害を防ぎ、充実した枝が伸張

■ミカンハモグリガに対する効果



【試験概要】

試験場名：大分県農林水産研究指導センター(2012年)
 発生状況：多発生
 品 種：大津八号4年生ポット植え
 区 制：1区1樹3反復
 処 理 日：エクシレル[®]SE 7月25日
 対照A剤 7月25日、8月3日、8月13日
 (発芽後から約10日間隔で3回)
 処 理 量：1樹当たり500ml
 調 査 日：8月22日(1回目散布から28日後、対照A薬剤の
 最終散布から9日後)
 調査方法：各樹10新梢の全葉について、被害度別に調査した

【考察】エクシレル[®]SE 100倍発芽後1回散布は、
対照A剤3回散布に優る防除効果が認めら
れ、実用性は高いと考えられる

■適用害虫と使用方法(適用表から一部抜粋)

2019年2月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む農薬の総使用回数
かんぎつ(苗木)	ミカンハモグリガ アゲハ類 ゴマダラカミキリ成虫	100倍	30~500 ml/樹 (但し、130ℓ/10aまで)	育苗期	3回以内	散布	3回以内
かんぎつ	アゲハ類 ケムシ類 ハマキムシ類 アザミウマ類 ミカンハモグリガ ミカンキジラミ ヨモギエダシヤク ケシキスイ類 ゴマダラカミキリ成虫 チャノドリヒメコバヤ コアオハナムグリ ハスモンヨトウ	5000倍	200~700 ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

その他の適用作物：りんご、もも、ネクタリン、なし、おうとう、あんず、すもも、ぶどう、茶

△効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用は、有効成分が分解するおそれがあるのでさけてください。これらの薬剤と混用する場合には、メーカーや販売店等に問い合わせるなどして、分解の有無を十分確認してから使用してください。
- やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- ぶどうへは、果粉溶脱及び葉斑を生じるおそれがあるので、袋かけ以降に使用してください。また、無袋栽培(傘掛けを含む)には使用しないでください。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 適用作物群に含まれる作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響を与えるおそれがあるので、散布の際はミツバチ及び巣箱にかからないようにしてください。また、散布直後から1日後まではミツバチを散布区域外に移動させるか、巣門を閉じてください。
- マメコバチに対して影響を与えるおそれがあるので、マメコバチの訪花期間中は散布しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

殺虫剤分類 28

殺虫剤抵抗性管理(IRM)

一般推奨事項：薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にならなくて処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、エクシレル[®]SEまたは他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。年間を通じて適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト

- (1) Insecticide Resistance Action Committee(IRAC)ウェブサイト (http://www.irac-online.org)
- (2) http://www.fmc-japan.com/Agricultural-Solutions/IRAC

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

